



SUBARU

2016年7月26日発行 通巻55号札幌稲雲高校図書館



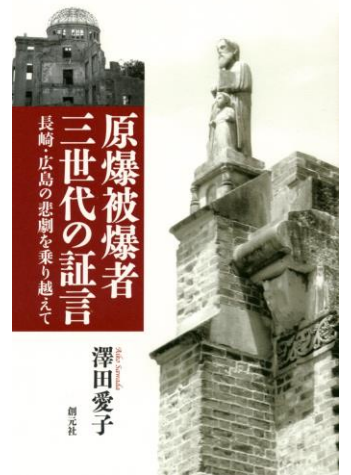
向き合おう。原子力。

原爆の被害について知る

1945年、8月6日に広島、9日に長崎。2つの原子爆弾が投下されたことは、読んでいる皆さんもご存じだと思います。爆発直後、一瞬にして数万人以上の命を奪いさっていき、後遺症で亡くなっていった人々も合わせると当時の集計で20万人以上にものぼったそうです。

爆発に伴って、熱線と放射線、周囲の大気が瞬間的に膨張して強烈な熱風と衝撃波を巻き起こし、その風速は音速を超えたそうです。その状況が爆発の光線と衝撃波で、「ピカドン」と呼ばれました。

爆発による衝撃波では、爆心地から半径2キロメートルほどの大きな範囲で建物がほとんど吹き飛んで行きました。そしてその強烈な熱線は、屋外にいた人間の全身の皮膚を炭化させ、内臓組織に至るまでの高熱で水分が蒸発していき、しまいには亡くなっていきました。ちなみに、実話をもとにして書かれた有名な漫画「はだしのゲン」では、主人公が偶然にしゃがんで日陰に隠れたことにより、熱線をほとんど浴びることがなく、助かりました。



↑原爆被爆者三世代の証言—長崎・広島の悲劇を乗り越えて
澤田愛子（著） 創元社

放射能とはなんだろう

2011年に起きた福島第一原発事故により、原子力発電所、放射性物質による汚染など、聞きなれない言葉がニュースで飛び交うようになりました。しかもそれらの単語は専門的で、正しく理解するのは大変です。放射能、原発とは、一体どんなものなのでしょう。

まず、放射能についてですが、これは「放射線を出す能力」のことです。危険なのは、放射線と放射性物質です。

放射性物質は、放射能を持つ物質の事です。形や大きさは様々ですが、空気中に塵と一緒に舞っているかもしれませんし、食べ物や水に混ざっているかもしれません。この物質は、皮膚に触れても有害で、もちろん、体内に入っても有害です。

そして放射線ですが、これが重要です。放射線は視認できず、浴びていても何も感じない、ビームのようなものです。浴びてすぐに人体に異変は起こらず、何かしらの症状が出た時には、すでに危険な状態になっています。

原発事故が起きた際、放射性物質が空気中に飛散しました。花粉のようなものだと思って下さい。これらを吸い込んでしまったり、目や鼻などの粘膜に付着させてしまったままにすると、体の中で放射線がバシバシと放たれてしまいます。これが内部被ばくというものです。外部からの放射線は、種類によって新聞紙などで防げますが、内部被ばくの場合、体内には放射線を遮るものがないため、内臓に深刻なダメージを負ってしまいます。放射線は5万ミリシーベルト浴びると48時間以内に死に至るという事なのですが、これも当然体感ではわかりません。専用の機械（ガイガーカウンター）を使って調べる必要があります。緊急時に体内に放射線物質を入れないようにするには、外出時のマスク装着、レインコート、手袋など、徹底的に身を守る必要があります。



「知っておきたい放射能の基礎知識」
← 齋藤勝裕（著） サイエンス・アイ新書



「原発・放射能図解データ」 大月書店
← 野口邦和監修 プロジェクトF（文）

学校はあります！北海道の日

局員の日常

みなさんは「北海道の日」ができるというのをご存知ですか。

道議会の自民党・道民会議、民進党・道民連合など全5会派は、7月17日を「北海道の日」（仮称）とする条例を制定する方向で最終調整に入りました。

この日は、幕末の探検家である松浦武四郎（1818～1888年）が北海道の名称を提案した日付に由来しています。道民の一体感を高める狙いで、記念行事や道立施設の無料開放を予定し、民間企業に道産品のフェアを促すなどして経済効果を目指す方針です。

元々日本には北限の概念が希薄だったのですが、江戸時代後期以降、ロシアの進出により意識せざるを得なくなりました。新名称をつけるべきであるという意見は、当時から多かったようでしたが、実現したのは明治になってからでした。

では、北海道という名の由来は何なのでしょう。

前述の通り名付けの親である松浦は明治2年に道名に関する意見書を提出し、日高見・北加伊・海北・海島・東北・千島の6つの道名候補をあげました。

このうち、「北加伊道」の「加伊」を「海」と変更して「北海道」となっているとされています。ちなみに松浦の意見書では「加伊」とは「夷人」の自称であると説明されています。

一方、アイヌ民族の中には北海道の「開拓」を節目とする史観に抵抗がある人たちもいます。

これについて5会派は制定の意義として「アイヌ民族の歴史への関心を深める」との内容を盛り込む予定だそうです。

そこで今回はアイヌ語を元にした北海道の地名やあいさつをまとめてみました。

日本語	アイヌ語	日本語	アイヌ語
稚内	ヤムワカナイ	紋別	モ・ペッ
白老	シラウ・オ・イ	知床	シリ・エトク
札幌	サッポロ・ペッ	こんにちは	イランカラプテ
手稲	テイネ・ニタッ	また会いましょう	スイウヌカラアンロ
登別	ヌプル・ペッ	ありがとう	イヤイライケレ
留寿都	ル・スッ	うれしい	エヤイコプンテク
洞爺湖	トー・ヤ	いってらっしゃい	アプンノパイエヤン

この他にも自分の家の近くに流れている川の看板などにアイヌ語が書かれているものがたくさんあると思います。

これを機に北海道の歴史などを振り返ってみればいかがでしょうか。



～かぐや姫の無茶ぶり：前編～

おじいさん、わたしはつきにかえらなさいいけないのです——

これを聞いて皆さんがイメージするのは「かぐや姫」でしょう。あるいは「かぐや姫」が「竹取物語」ということを知っていてそちらをイメージする人もいるでしょう。

ところで、あなたは「竹取物語」の内容を知っていますか？あまり知らないですよね？

なんと「竹取物語」ではかぐや姫は5人の男性から求婚されているのです！

さて、かぐや姫は求婚されてどうしたのでしょうか。「竹取物語」にはこう書かれています。

「5人の中に、ゆかしき物を見せ給へむに、御心ざし優りたりとて、仕えまつらむ」

今の言葉はかぐや姫のものですが、だいたい

「私の欲しいものを持って来たら結婚してあげる！」

といった感じですね。さて、かぐや姫は何が欲しいと言ったのでしょうか。

優しいかぐや姫のことだから少し珍しいくらいのものでしょ？と思っているそこのあなた！残念ながらかぐや姫はそんなに優しくはありません。

本当は結婚したくなかったのか、かぐや姫はとんでもないものばかりを欲しがります。現代風に言えば「とんでもない無茶ぶり」です。

1人目——石作皇子(いしつくりのみこ)には天竺にあると言われる仏の御石の鉢を、2人目——車持皇子(くらもちのみこ)には東の海のどこかにあると言われる蓬莱という山の木の枝を、3人目——阿倍御主人(あべのみむらじ)には火を付けても燃えない火鼠の皮を、4人目——大友御行(おおとものみゆき)には龍の首についている五色に光る玉を、5人目——石上麻呂(いそのかみまろたり)には燕の巣にある小安貝を、それぞれ欲しいと言っています。どれもこれも絶対に取りれないようなものばかりですね。

さて、5人の男性はこの無茶ぶりを受けてどうしたのでしょうか。

と、いいところですがこの話の続きは次号！次号のコラムをお楽しみに～

コラム

昔話

の

裏話

